

教えてください。廃校の理由を！

高南教職員

高槻南高校が、府の再編整備で廃校となる案が出されています。いったいなぜ高槻南なのでしょう

まず、廃校問題でよく引き合いに出される数字的データを並べると、中退率ですが、平成12年度の中対立は0.1%です。進路では、今年(2001年)の春の卒業生355名は国公立大学10名を含む、206名が四年制大学、短期大学に、71名が看護学校を含む専門学校に進学し、11名が学校斡旋で就職しました。これまでの実績が認められて、関西大や立命館大などの私立大学を含む大学・短大から167校もの指定枚推薦をもらい、企業からは、この失業率の高い時代にJR西日本や大阪医科大学、東洋製罐など91社から求人票をもらっています。部活動も盛ん竈、全国大会によく名を連ねたサッカー部を始め、35あるうちの多くの運動部、文化部が、近畿や大阪大会レベルで公立高校のトップクラスの輝かしい成績を収めています。9月1日は始業式でしたか、夏休み中の各部活動の成績発表で半分近い時間が費やされたほどです。

生徒会活動、諸行事も生徒が中心となって非常に活発に行われています。今は体育祭を目前にして、毎日遅くまで3年生か12年生を指導しながら一生懸命、応援団の準備をしています。また、創立20周年を記念して始められたオーストラリアのトゥンバ高校との短期交換留学も、来年で10年目を迎えます。公立高校でこのような国外の姉妹校との短期留学を始めたもっとも古い学校の一つです。

今年もまもなくオーストラリアから13人の生徒を迎えます。

数字では表せませんか、本校の最大の特徴は生徒の愛校心です。不本意入学者や中途退学者がこれほど少なく、また、卒業後も「高校時代が一番楽しかった」と全員が異口同音に訴える高校が、そんなにたくさんあるでしょうか。中学時代の辛い経験で、厳しい表情で入学してきた生徒が、本校に在学するうちに、とんどん明るい柔らかな表情に変わっていくのを、私は何人ともなく見てきました。殺伐とした今の世の中で、本校はどんな個性を持った生徒もいじめられることなく受け入れられ、友人を作り、のびのびとまっすぐ成長していく様子を、毎日見てきました。小学校から学校嫌いで、高南に来て初めて学校が好きになったと言っている1年生もいます。また、生徒の教師に対する信頼度のこれほど厚い学校も珍しく、その信頼度に応えなければと、教師がむしろ励まされることもあるほどです。夏休みも、朝8時40分から夕方5時までびっしり3年生向けの進学講習があります。猛暑の中、セミの合唱に声をかき消されながら流れ落ちる汗をふきふき、しんどいなあと思いながらも、1日も休まず出席してくれる生徒の熱意に

応えなければと、なんとかやり遂げることができました。

私が本校に勤務するようになって、一番感動したことは、しかし、まだ別にあります。それは、一見些細なことのように思えるかもしれませんが、私にとっては非常に大切なことなのです。生徒たちが自分にとって何の得にもならないことを、すすんでするということです。例えば、掃除です。掃除をサボる生徒はほとんどいません。一見やんちゃな生徒でも一生懸命掃除をしてくれます。時には、「そこまでせんでもええよ」と思わず声をかけたくなるほどです。どんな高校でも、掃除をさせるのに頭を痛めたことの無い教師はほとんどいないのではないのでしょうか。本校では、そのような苦労は全く不要です。教師がいようがいまいが、きちんとやってくれることは保証付です。しかも、嫌な顔をすることすらありません。今の世の中、風潮からすると、ほとんど奇跡と言えるのではないかといつも感動しています。

このような学校は、公立高校として、どんな教師でも目指すひとつの理想像ではないのでしょうか。このような学校が廃校になるのなら、一体教師はどんな学校を目指して教育活動を行えばよいのでしょうか。29年間、生徒も教職員も保護者もよい学校を作り上げようと努力してきました。その結果、来年30周年を迎えようとしている矢先に、理由らしい理由も告げられることなしに、「廃校」を知らせるプリント1枚が生徒に配布されました。生徒や卒業生は「何故なんですか。私たちの何がいけなかったのですか。」と泣きながら問いかけてきます。私には彼らを納得させることのできる理由をなにひとつ持っていません。廃校の憂き目にあうために、29年間の積み重ね、実績、努力があったのかと、涙することしかできないのです。高槻南高校が廃校にふさわしいという理由をご存知の方がおられたら、どうぞご一報ください。どんな学校をめざしたらよいのか、私にお教えてください。（2001年9月）